

新規事業採択時評価結果（平成17年度 新規着工準備箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課
担当課長名：松谷 春敏

事業名	西鉄天神大牟田線連続立体交差事業 (雑餉隈駅付近)	事業区分	連続立体 交差事業	事業主体	福岡市
起終点	自：福岡市博多区諸岡 至：福岡市博多区春町	延長	約1.9km		

事業概要

本事業は西鉄天神大牟田線の雑餉隈駅付近を連続立体交差化し、踏切7箇所（うちボトルネック踏切4箇所）を除却することにより、踏切渋滞・事故を解消するなど都市交通の円滑化と鉄道による地域分断の解消を図るものである。

事業の目的、必要性

連続立体交差事業にあわせ、雑餉隈駅の駅前広場やアクセス道路等の都市基盤を整備し、都市交通の円滑化を図るとともに、周辺のまちづくりを進め、地域の活性化・一体化を図るものである。

全体事業費	億円		計画踏切交通遮断量	34万台時/日
費用対効果 分析結果	B/C 1.6	総費用 181億円 (事業費：181億円 維持管理費：0億円)	総便益 281億円 (走行時間短縮便益：268億円 走行費用減少便益：7億円 交通事故減少便益：6億円)	基準年 平成16年

感度分析の結果

交通量変動：B/C=2.1（交通量+10%） B/C=1.0（交通量-10%）
事業費変動：B/C=1.4（事業費+10%） B/C=1.7（事業費-10%）

事業の効果等

- ・円滑なモビリティの確保（ボトルネック踏切の除却）
- ・都市の再生（駅周辺整備（駅前広場整備等）を合わせて実施し、都市の拠点を形成）
- ・災害への備え（鉄道交差道路が、緊急輸送道路ネットワーク計画に位置付け有り）
など20項目に該当

関係する地方公共団体等の意見

福岡市新・基本計画で鉄道の高架化が位置付けられているとともに、福岡市より本事業の早期実現の要望を受けている。（平成16年6月15日）

事業概要図

凡	例
——	供用中
■ ■ ■	事業中
▨ ▨ ▨	新規着工準備

踏切
既設立体交差



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものである。